

注意事項

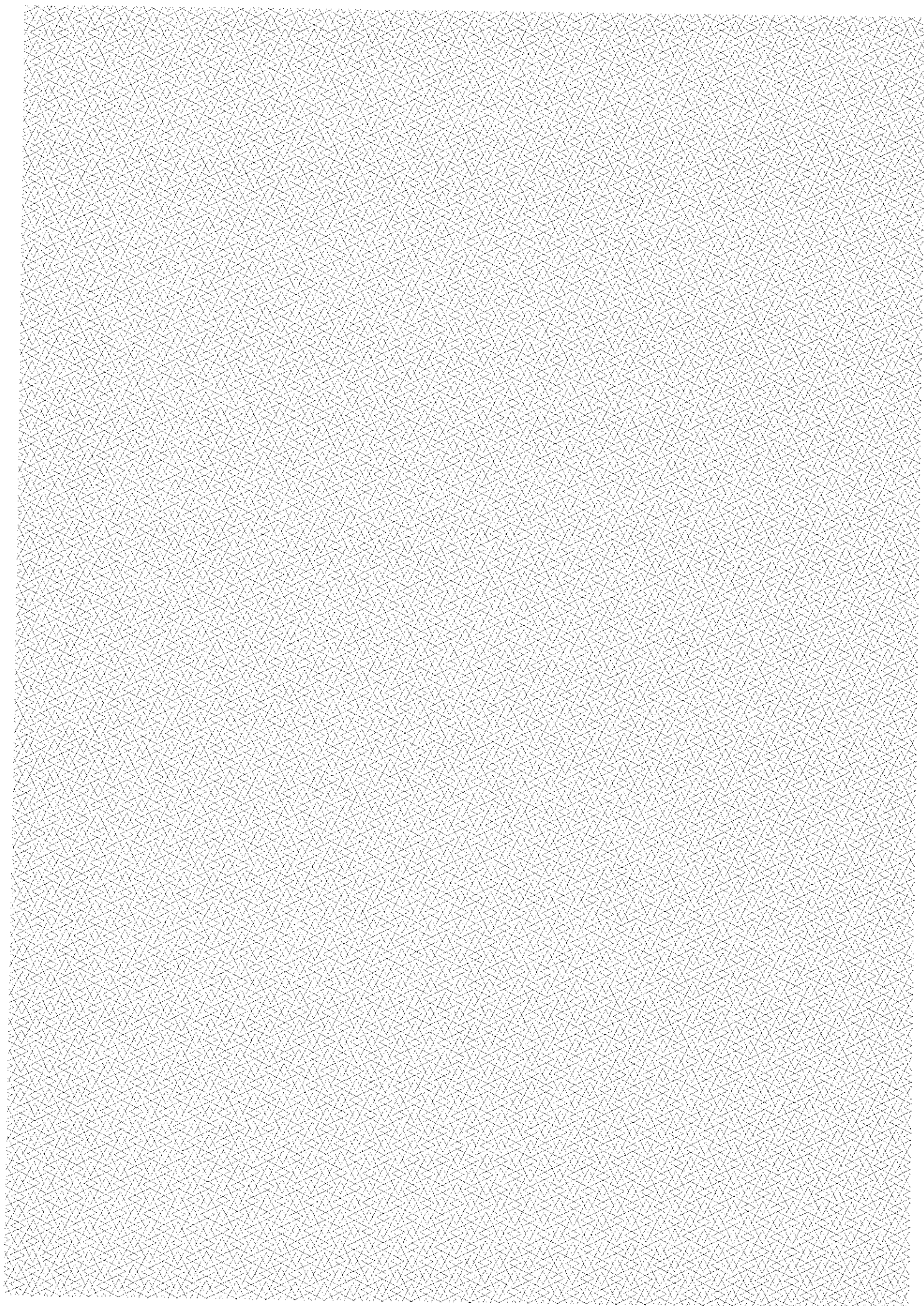
- 1 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
 - 2 問題は3ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落字・乱字および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
 - 3 解答はすべて、H Bの黒鉛筆またはH Bのシャープペンシルで記入すること。
 - 4 小論文解答用紙記入上の注意
 - (1) 小論文解答用紙の所定の欄に、受験番号および氏名を正確に丁寧に記入すること。
 - (2) 所定の欄以外に受験番号および氏名を書いてはならない。
 - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。
- | | | | | | | | | | | |
|------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 数字見本 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
- (4) 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。
- (例)

38225番

↓

万	千	百	十	一
	3	8	2	5
- (5) 解答用紙の「記入上の注意」をよく読んで解答すること。
 - 5 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定の欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
 - 6 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにする
 - 7 問題冊子および下書き用紙は持ち帰ること。
 - 8 いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

小論文 (問題) 2016年度 <2016 H28109020>



次の論題について、あなたの立場（肯定側）と対立する立場（否定側）の人を説得することを目的とめ、あなたの考え方を論述してください。その際、決められた立場（肯定側）に立って現状を見つめなおし、客観的に論題に対する検証を行うようにします。つまり、この論題に対して「自分は反対だ」と思っても、ここではその考えに関わらず、論題に対して賛成の立場に立って、八〇二字以上一〇〇〇字以内で論述してください。

なお、論述においては以下の関連事項に関する記述及び否定側の論点を踏まえて、否定側や第三者をいかに説得できるかという観点から述べることが重要です。

【論題】

高等学校における「運動部の活動」の現状については、改革をすべきである。

【論述の立場】

- ・肯定側：改革すべきである。
- ・否定側：改革すべきでない。

- ・あなたの立場：肯定側（否定側を説得するための肯定論を述べる立場）

【関連事項に関する記述】

- ・学校の部活動
- 生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動については、スポーツや文化及び科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資するものであり、学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意すること。

【否定側の論点】

- ・運動部でスポーツ活動を行うことは、高校生にとって心身の発育発達を図る上で重要な機会となっていること、また、競技力向上や生徒の一体感などが醸成されることなどから、現状における高校の運動部活動を改革する必要はない。

〔以下 余白〕

